

第8回 再生普及推進のための連携チーム会合

日時：平成30年11月22日(木)16:00～17:30

場所：釧路地方合同庁舎 4階第三会議室

----- 議 事 -----

1. 環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について
2. ウェブサイト等による情報発信について
3. 「釧路湿原自然再生パネル」の作成について
4. 「釧路湿原自然再生ガイドブック」の英語版作成について

----- 配布資料一覧 -----

- 資料 1-1 環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について
- 資料 1-2 アンケート集計結果
- 資料 2-1 ウェブサイトによる協議会からの情報発信について
- 資料 2-2 現行ウェブサイトのコンテンツ一覧
- 資料 2-3 「釧路湿原自然再生パネル」の作成について
- 資料 2-4 「釧路湿原自然再生ガイドブック」の英語版作成について
-
- 参考資料 1 再生普及推進のための連携チーム設置について
- 参考資料 2 再生普及推進のための連携チーム取組み課題

第8回 再生普及推進のための連携チーム会合出席者名簿(敬称略)

<専門家>

所属等	氏名
再生普及小委員会委員長(前北海道教育大学釧路校准教授)	高橋 忠一
再生普及小委員会副委員長(湿原再生小委員会委員長、釧路国際ウェットランドセンター主任技術委員)	新庄 久志

<小委員会事務局>

機関名 [担当小委員会]	出席者
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課 [湿原再生、旧川復元、水循環、土砂流入、地域づくり]	治水専門官 稲垣 乃吾 開発専門職 阿部 祥一
環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所 [湿原再生、森林再生]	自然再生企画官 中西 誠
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林ふれあい推進センター [森林再生]	所長 川渕 義昭
北海道釧路総合振興局釧路建設管理部事業室治水課 [土砂流入]	主査(河川) 赤塚 靖
北海道釧路総合振興局産業振興部商工労働観光課 [地域づくり]	観光振興係 田中 龍輝

<事務局>

機関名	出席者
環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所 [再生普及]	国立公園課課長補佐 桑原 靖則 釧路湿原自然保護官 矢部 敦子
公益財団法人北海道環境財団 (再生普及行動計画オフィス)	事務局次長 久保田 学 環境教育推進課 安田 智子

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会 再生普及推進のための連携チーム名簿(敬称略)

2017年12月1日現在

<専門家>

高橋 忠一 (再生普及小委員会委員長)

新庄 久志 (再生普及小委員会副委員長、湿原再生小委員会委員長)

<協議会事務局>

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

[湿原再生、旧川復元、水循環、土砂流入、地域づくり]

環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所

[湿原再生、森林再生、再生普及、地域づくり]

林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林ふれあいセンター [森林再生]

北海道釧路総合振興局釧路建設管理部 [土砂流入]

北海道釧路総合振興局産業振興部 [地域づくり]

北海道釧路総合振興局保健環境部

渡辺 修

<その他>

※ 委員長の判断により必要に応じて関係者に出席を要請する。

環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について

2018年11月22日
再生普及行動計画オフィス

6月から10月の期間中、自然再生協議会角小委員会及びワンダグリンド・プロジェクト登録団体が実施した市民参加の取組みは以下のとおり。

開催日	イベント名	主催	実施 報告書	アンケート
5月30日(水) 8:45~16:00	平成30年度 第1回 雷別ドングリ倶楽部(植樹、ツリーホルダーの設置)	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
6月9日(水) 8:45~16:00	雷別へ植樹へ行こう!	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
6月23日(土) 8:30~14:30	みんなで調べる復元河川の環境・2018夏	釧路国際ウェットランドセンター	○	○
7月8日(土) 9:00~12:30	タンチョウの冬の食事場所を作ろう	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	○	○
7月18日(水) 8:45~16:00	平成30年度 第2回 雷別ドングリ倶楽部(達古武再生委事業地見学)	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
7月25日(水) 9:00~15:00	幌呂地区湿原再生現地見学会	湿原再生小委員会事務局 (釧路開発建設部治水課)	○	○
7月29日(日) 10:00~12:00	特定外来生物ウチダザリガニ捕獲&試食体験	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会、こどもエコクラブくしろ	○	×
9月12日(水) 8:45~16:00	平成30年度 第3回 雷別ドングリ倶楽部(釧路川源流部自然観察)	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
9月15日(土) 9:00~15:30	釧路高専、西松建設、Nネット連携によるCSR活動	釧路湿原森林ふれあい推進センター	○	○
9月19日(水) 9:00~15:30	久著呂川自然再生の見学ツアー	土砂流入小委員会事務局 (釧路建設管理部治水課)	○	○
9月22日(土) 8:15~15:30	みんなで調べる復元河川の環境・2018秋	釧路国際ウェットランドセンター	○	○
9月22日(土) 10:00~12:00	カヌーで清掃 IN 達古武湖	環境コンサルタント株式会社	○	○
10月8日(月・祝)	環境省釧路自然環境事務所	カヌーdeヒシ刈り!自然を楽しむin達古武湖	○	×

実施報告書

日 時：平成 30 年 5 月 30 日（水） 9：00～16：00

場 所：雷別地区自然再生事業地（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）

主 催 者：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

行 事 名：第 1 回「雷別ドングリ倶楽部」

参加者人数：13 名

取組の概要

「雷別ドングリ倶楽部」は、国有林をフィールドとして自然再生に取り組むボランティア団体で、今年度第 1 回目となる今回は、笹地 11 でハルニレ・ヤチダモ・ミズナラ 150 本を植樹しました。また、午後からは、植栽木をウサギ等の野生生物による食害から保護するため、保護管（ツリーシェルター）で被覆しました。



主催者の感想

当日は季節外れの陽気で、参加した会員の皆様は慣れた手つきで、次々と植付けや保護管の被覆を行い、自然再生事業地で心地良い汗をかかれています。

実施報告書

日 時：平成 30 年 6 月 9 日（土） 9：00～16：00

場 所：雷別地区自然再生事業地（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）

主 催 者：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

行 事 名：「山の日」記念「雷別へ植樹に行こう！」

参加者人数：24 名

取組の概要

この催しは、雷別国有林の自然再生を地域住民と協働で取組むもので、当日は笹地 11 でハルニレ・ヤチダモ・ミズナラ 150 本を植樹するとともに、植栽木をウサギ等の野生生物による食害から保護するため、保護管（ツリーシェルター）で被覆しました。



主催者の感想

植栽箇所は笹根や根株が多く、参加いただいた地域住民の皆様は、苗木を植える穴掘りに大変難儀されていました。また、ツリーシェルターの設置では、杭や組立てた筒を運ぶのに、何回も坂道を往復する等、苦労等々されていました。

実施報告書

日時：平成 30 年 6 月 23 日（土） 10:00～14:00

場所：釧路川茅沼地区

行事名：みんなで調べる復元河川の環境・2018 夏

主催者：釧路国際ウェットランドセンター

参加者人数：18 名（関係者含む）

取組の概要

参加者の皆さんと、釧路川の蛇行復元河道から自然河道へ続く左岸 1.3 km の水生生物、堆積土壌、植生を調べました。水生生物班は、「どう」やタモ網で魚類や甲殻類捕獲し、種を確認しました。植生・土壌調査班は、河道復元後に新しく形成された砂州の土砂堆積と大きさを計測後、砂州に設置した区画内の植生を調べました。調査後に全員で調査結果の確認と、過去のデータとの比較を行いました。



土壌調査

植生調査

水生生物調査

主催者の感想

今年度は初めて砂州の植生調査を実施しました。堆積している土壌、地下水位の深さにとともに、成立する植物群落の構成に変化があることを確認でき、非常に興味深い結果が明らかになりました。普及啓発とモニタリング双方に資する事業として、今後も同様の調査を続けていきたいと考えています。

実施報告書

日 時：2018年7月1日（日）9:00～12:30

場 所：鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ（ネイチャーセンター）、
旧雪裡2号採食地

主 催 者：鶴居伊藤タンチョウサンクチュアリ

行 事 名：クレインズの選手と一緒にタンチョウの冬の食事場所をつくろう 2018

参加者人数：26名

取組の概要

当イベントは、アイスホッケーのプロチーム「日本製紙クレインズ」の選手と鶴居村の子どもたちが協力し、自然採食地（タンチョウが冬に自然の餌を採れる場所）の維持管理を行う活動です。完成した自然採食地は、数年で林内や河川への倒木が増え、草本や低木も繁茂します。タンチョウが餌を食べやすい環境になるように河川にかかる倒木の処理を行ったり、自然採食地を出入りできるように低木を切るなどの管理作業を進めています。



主催者の感想

クレインズの選手と鶴居村の子どもたちが活動するこのイベントは、今年で7回目を迎えました。力持ちのクレインズの選手と元気あふれる子どもたちの作業により、あっという間に開けた空間ができました。餌が食べやすい環境になったこの自然採食地を、今年の冬もタンチョウは利用してくれることと思います。今後も多くの人にタンチョウのことを広め、地域一体となった保護活動を進めていけるよう、自然採食地の整備に取り組みます。

実施報告書

日 時：平成30年7月18日（水）9：00～16：00

場 所：達古武地区森林再生事業地（釧路郡釧路町達古武）

主催者：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

行 事 名：第2回「雷別ドングリ倶楽部」

参加者人数：12名

取組の概要

今年度第2回目の活動は、環境省釧路自然環境事務所が、森林再生に取り組んでいる「達古武地区森林再生事業地」（釧路町達古武）を見学しました。

当日は、同事務所のご担当者から、当該事業の目的を始めとして、広葉樹苗木の育成や森林再生等について、現地を見学しながらご説明をいただくとともに「森林と湿原のつながり」のご説明もあり、会員は熱心に聞き入っていました。



主催者の感想

午後からは「達古武遊歩道」で、湿原に咲くオオウバユリ、ホザキシモツケ、チシマアザミ等の初夏の花々を観察しながら展望台まで散策しました。夢ヶ丘展望台からは、釧路湿原の雄大な景観が眺めることができ、会員の皆様は「森林と湿原のつながり」を実感された様子でした。

実施報告書

日時：平成 30 年 7 月 25 日（水） 9:00~15:00

場所：幌呂地区湿原再生区域（鶴居村 下幌呂）

行事名：幌呂地区湿原再生現地見学会

主催者：湿原再生小委員会事務局（釧路開発建設部治水課）

参加者人数：25名

取組の概要

自然再生事業を広く一般市民に理解してもらうため、「幌呂地区湿原再生」箇所の見学と、湿原を代表する植物であるヨシの移植体験、ハンノキの調査及びハンノキ環状剥皮（巻き枯らし）の体験を行いました。



シャベルで穴を掘り、小さいヨシの苗 555 本移植しました。



ハンノキの調査（樹高・周囲長・萌芽本数・根の高さ等）を行い、生長の度合いを確認しました。



ハンノキを葉から根までの水や栄養を遮断して枯死させるため、樹皮を環状に剥ぎました。

主催者の感想

今年で 6 回目の開催となり、25 名の方にご参加していただきました。道外からの長期滞在の方、また今年には小学生など学生の参加者もいました。中学生からヨシ移植について「これからヨシなどが増えてそこに住む生き物たちも増えてほしい」というコメントがありました。これからも幅広い年代に自然再生に興味を持ってもらえるよう見学会を継続していきたいと考えております。

実施報告書

日	時：平成30年7月29日（日）10：00～12：00
場	所：温根内ビジターセンター周辺
行 事 名	：親子で参加！ウチダザリガニ捕獲&試食体験
主 催 者	：釧路湿原国立公園ボランティア・レンジャーの会、こどもエコクラブくしろ

参加者人数：親子12組38名、北海道新聞、釧路新聞、朝日新聞の記者

取組の概要

釧路湿原の自然環境に影響をあたえている特定外来生物ウチダザリガニ。この問題を多くの方に知ってもらうことを目的に、一般参加者を募って捕獲&試食体験をしました。

1 しる！

いったいどんな生きもの？どんな悪さをしてる？
手作りの紙芝居でわかりやすく紹介しました。

＼新ビジターで初開催！／



2 とる！

前日しかけておいたカゴ網は、参加組数にあわせ
12個！一家族につきひとつ引きあげました。

＼重いっ！／

＼怖くな〜い♪／



3 しらべる！

138匹もの捕獲に成功！体長や体重を計測し、性別の見分け方もマスターしました。オス55匹、メス83匹。残念ながらニホンザリガニは0匹。

＼大きい！／



4 たべる！

薪ストーブが登場！外来生物とはいえ大事な命。そまつにしないよう塩ゆでしていただきました。みんなヤミツキに！

＼おいしーい！／



主催者の感想

外来生物の問題は、多くの市民の理解と参加がなければ解決できません。これからも皆さんと一緒に見る、触れる、学ぶ、そして湿原を守る機会をつくっていききたいです。

実施報告書

日 時：平成 30 年 9 月 12 日（水）9：00～16：00

場 所：玉川大学北海道弟子屈農場（川上郡弟子屈町美留和）

主 催 者：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

行 事 名：第 3 回「雷別ドングリ倶楽部」

参加者人数：16 名

取組の概要

今年度第 3 回目の活動は、「玉川大学北海道弟子屈農場」を訪ね、釧路川源流部に位置する同大学研究林で自然観察を行いました。

当日は、同大学美留和晴耕塾のご担当者から、当該施設や研究林の概要を始めとして、地勢や動物・植生等について、現地を散策しながら解説いただきました。



主催者の感想

解説に当たっては、国外のものを例示いただく等、専門的な説明と併せて質問にも回答いただき、会員からは「今後の森林づくり活動に参考となるお話を聞くことができ、大変勉強になった。」等の感想があり、大変有意義な一日となりました。

実施報告書

日	時：平成 30 年 9 月 15 日（土）9：00～15：00
場	所：雷別地区自然再生事業地（根釧西部森林管理署 293 林班／川上郡標茶町雷別）
主 催 者	：林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
行 事 名	：産学官が連携した自然再生の取組み
参加者人数	：46 名
取組の概要	<p>この催しは札幌市に支店をおく企業が、これまで主に道央で実施してきた社会貢献活動について、平成 29 年度から「雷別地区自然再生事業地」で、企業・高専・当センターが連携して、自然再生に取り組んでいるものです。</p> <p>2 年目となる今年度は、笹地 11 でハルニシ・ヤチダモ・ミズナラ 200 本を植樹するとともに、植栽木をノウサギ等の野生生物による食害から保護するため、保護管（ツリーシェルター）で被覆しました。</p>
	
主催者の感想	<p>現地は笹根や根株が多く、苗木を植える穴掘り等に、参加いただいた皆様にご苦勞をおかけしました。</p> <p>また、「学生とともに社会貢献活動ができ、楽しい時間が過ごせました。」等の感想があり、参加いただいた皆様にとって、充実した一日となったようです。</p>

実施報告書

日時：平成 30 年 9 月 19 日（水）9：00～16：30

場所：久著呂川の土砂流入対策箇所等（鶴居村・標茶町）

行事名：久著呂川自然再生の見学ツアー

主催者：土砂流入小委員会事務局（釧路建設管理部治水課）

参加者人数：8 名

取組の概要

久著呂川の上流、中流、下流を順番に巡り、釧路湿原への土砂流入対策の現状や河川環境の回復状況について、見学やモニタリングを体験するツアーです。流域の美しい景観を望んだ後、川に入って箱メガネを用いて川の中を泳ぐ魚類の観察などを行いました。湿原流入部では人工ケルミや湿原流入部の河川の状況を見学しました。



主催者の感想

今回見学会は当初 8 月 25 日（土）に開催予定だったものが、台風接近のため延期となってしまいましたが、当日は天候も良く、上流域では雄阿寒岳・雌阿寒岳の雄大な景観を眺め、また川の中に入り実際に泳いでいる魚類の観察を行うことができました。移動中の車内でのクイズや見学箇所の説明を通じ、土砂流入対策などの釧路湿原の自然再生事業について理解を深めていただけたと感じています。

実施報告書

日 時：2018年9月22日（土） 10：00～12：00

場 所：達古武オートキャンプ場

行 事 名：カヌーDE 清掃 IN 達古武湖

主 催 者：環境コンサルタント株式会社

参加者人数：11名

取組の概要

釧路湿原に生息する動植物の解説やワンダグリンダの取組みについて参加者に説明を行い、今年度は4艇のカヌーに乗船し達古武湖のゴミ拾いを行いました。

カヌー清掃後にヒシが有効利用可能な食材であることを知ってもらうため、達古武湖で採取したヒシの実を使った「ヒシ入りいも団子」「ヒシ入りパン」をその場で焼いて、ヒシの試食を行いました。



カヌーに乗ってゴミ拾い



参加したみなさん



ヒシ入りいも団子



ヒシ入りパン

主催者の感想

今年度は小雨の中、11名の参加者が4艇のカヌーに乗船し達古武湖のゴミ拾いを行いました。今年度はゴミが少なく、ゴミ拾い活動を継続してきた事が少しでも湿原保全に貢献できていればと思います。今回MY箸、MYお皿を持参していただき、ゴミを出さないよう呼びかけました。ヒシの実を初めて食べる方、リピーターの方からも「美味しい」と好評でした。

「もっと自然再生に協力したい」という感想もあり今後は別な試みも検討したいと思います。

実施報告書

日時：平成30年9月22日（土） 8：30～15：30

場所：標茶町茅沼地区

行事名：みんなで調べる復元河川の環境・2018秋（茅沼地区旧川復元現地見学会）

主催者：釧路国際ウェットランドセンター・釧路開発建設部
釧路湿原自然再生協議会（旧川復元小委員会・再生普及小委員会）

参加者人数：30名

取組の概要

自然再生事業を広く一般市民に理解してもらうため、「茅沼地区旧川復元現地見学会」を釧路国際ウェットランドセンターと釧路開発建設部とで共同開催しました。6班に分かれてカヌーとEボートで釧路川の直線河道から復元河道を下り、河岸の植生や河畔の景観、発見した動植物などについて観察・記録しました。旧川復元の切替部で一時停泊し、自然再生事業に関する説明を行いました。また、復元河道の下端部付近で、河岸の砂州に上陸し、州の大きさや土砂構成を調べて、この地点での蛇行復元後の土砂の捕捉状況などを確認しました。下船後、この日の調査や観察の結果を振り返りました。

※Eボートとは、10人乗りの大きなゴム製カヌーで、誰でも(everybody)簡単に(easy)楽しめる(enjoy)水辺の交流ツールです。



主催者の感想

釧路国際ウェットランドセンター：初めての共同開催イベントでしたが、無事に実施することができました。今回は初めての参加者も多かったのですが、砂州の計測はリピーターの参加者の主導で行われ、地域住民自身が普及啓発の担い手となっていることが伺えました。カヌーでの調査では、例年とは違うルートを下ったので新たな発見が多くありました。

釧路開発建設部治水課：今年は初めて共同開催となりました。応募が多数で抽選となりましたが、それだけ釧路川に興味を持っていただいている方がいることを実感しました。

アンケートでは、「湿原河川の働きを知ることができ、子供達にも伝えたい」「湿原が生物にとっての財産」など多くのコメントがありました。これからも自然再生に興味を持ってもらえるように、見学会を継続していきたいと考えております。

実施報告書

日時：平成 30 年 10 月 8 日 13:00~15:30

場所：釧路湿原自然再生事業地（達古武湖：釧路町）

行事名：カヌーdeヒシ刈り！自然を楽しむin達古武湖

主催者：環境省釧路自然環境事務所

参加者人数：5名

取組の概要

当初はカヌーに乗って自然再生事業で行っている「ヒシ刈り」を体験してもらうイベントとして企画していたが、地震の影響で中止となった。代替イベントを実施した 10 月上旬は、ヒシが枯れている時期であったため、カヌーに乗って自然再生の現場を見学し、達古武湖の自然を体感してもらった。その後、達古武湖の自然再生についてクイズ等を通して学ぶというプログラムのイベントを実施した。



主催者の感想

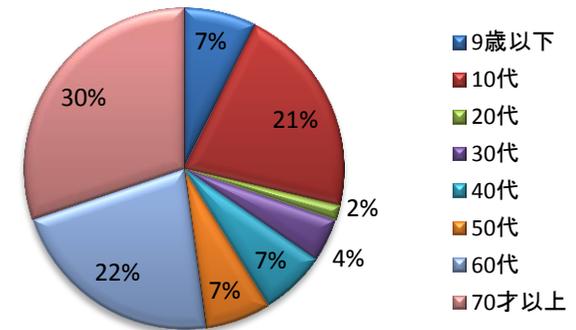
少人数であったため、自然再生の現場の説明がきちんと時間をとれたことにより、参加者の理解度が高まった。また、半日というコンパクトなプログラムでの実行性が確認できた点良かった。

当初予定のイベントでは計画的にボランティアスタッフの積極的な関与を高める取組を進めていた。次年度以降も新規参加者の開拓、継続的な開催を目指して取組を進めたい。

参加者アンケート集計結果

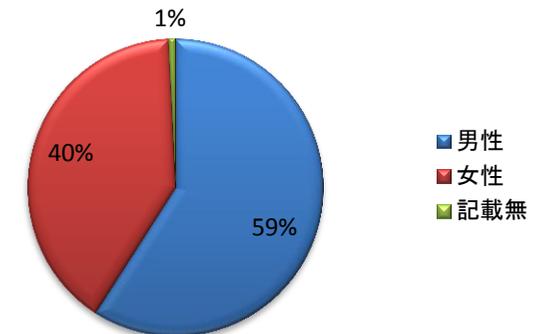
■年齢

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査・夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
9歳以下	0	0	0	7	0	1	0	0	0	1	1	10
10代	0	0	0	5	0	3	0	19	0	1	1	29
20代	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2
30代	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	1	6
40代	0	1	1	0	0	1	1	2	0	3	2	9
50代	0	2	0	0	0	0	0	5	0	3	1	9
60代	4	5	3	0	1	10	3	1	3	9	3	30
70才以上	9	12	1	0	9	7	11	1	4	8	1	41
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



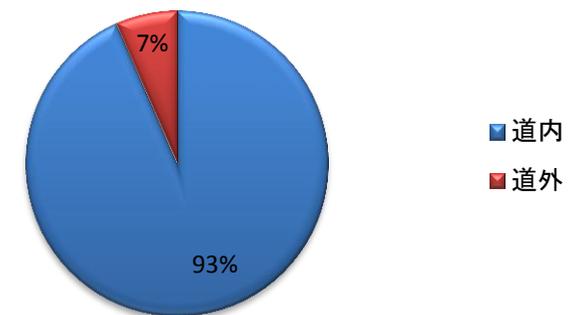
■性別

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査・夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
男性	7	6	2	9	8	9	10	28	4	10	3	81
女性	6	9	4	7	2	14	5	1	3	16	7	55
記載無	0	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



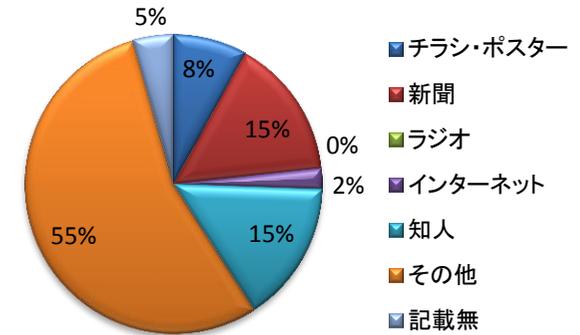
■どこからきたか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査・夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
道内	13	22	6	16	10	16	15	30	6	25	10	128
道外	0	0	0	0	0	7	0	0	1	1	0	9
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



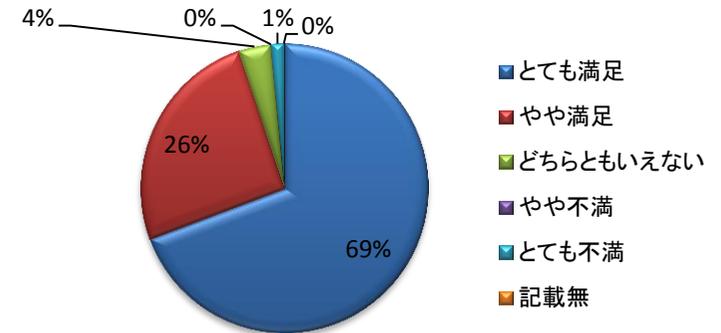
■今日の行事をどのようにして知ったか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
チラシ・ポスター	0	0	0	4	0	6	0	0	0	0	1	11
新聞	0	1	0	1	0	0	0	0	0	19	1	21
ラジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インターネット	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
知人	0	8	1	5	0	2	0	8	0	1	5	21
その他	13	13	5	5	10	13	15	16	7	6	3	75
記載無	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	6
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



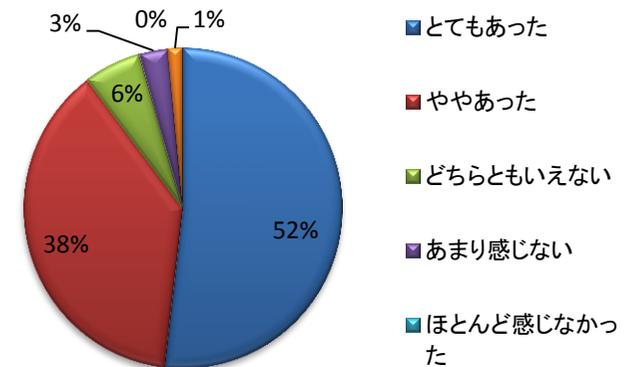
■今日の活動の感想

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
とても満足	6	19	5	9	7	16	11	14	7	21	10	95
やや満足	6	3	1	6	3	6	4	11	0	5	0	35
どちらともいえない	1	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	5
やや不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とても不満	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



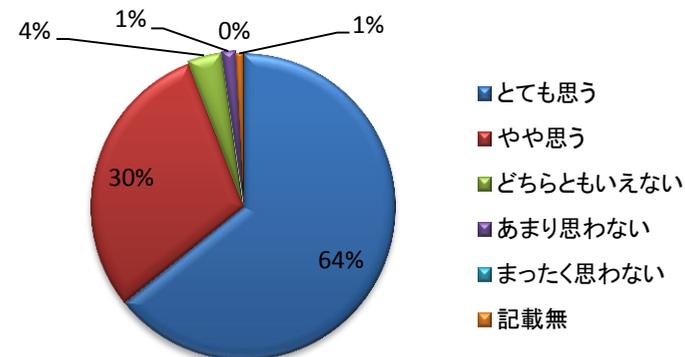
■今日の活動が釧路湿原の自然再生につながったという実感があるか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
とてもあった	6	18	4	7	7	11	8	16	4	15	3	71
ややあった	6	4	2	5	3	10	5	10	3	9	7	52
どちらともいえない	1	0	0	3	0	1	1	3	0	0	0	8
あまり感じない	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4
ほとんど感じなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



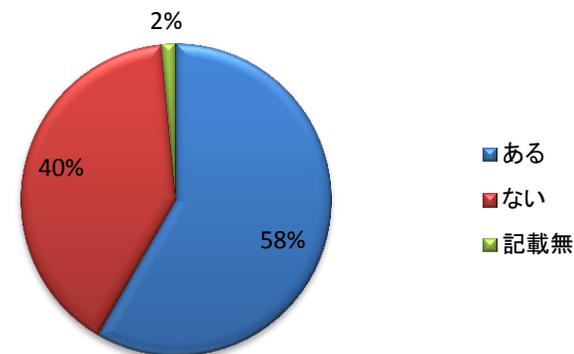
■釧路湿原の保全や再生に今後ともかかわっていきたいと思うか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
とても思う	8	17	4	8	7	18	11	10	6	20	8	88
やや思う	5	5	2	6	3	5	4	15	1	5	2	41
どちらともいえない	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	5
あまり思わない	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
まったく思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記載無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



■これまでも釧路湿原の自然再生に関連するイベントに参加したことがあるか

	第1回 ドングリ	雷別 植樹	復元河川 調査夏	食事場 作り	第2回 ドングリ	幌呂 見学会	第3回 ドングリ	雷別 CSR	久著呂 見学会	復元河川 調査・秋	カヌー 清掃	計
ある	11	11	6	5	8	15	14	14	7	9	8	80
ない	1	11	0	10	2	8	0	16	0	17	2	55
記載無	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
参加人数	13	22	6	16	10	23	15	30	7	26	10	137



■今後どのような行事があったら参加したいと思うか

- ・キラコタン岬や宮島岬に入ってみたい
- ・湿原(再生事業)に関わる事なら何でも
- ・ハンノキの皮剥ぎ体験、ボランティア
- ・植樹
- ・外来種防除
- ・ゴミ拾い
- ・ザリガニ釣り
- ・昔の湿原を知っている人の話を聞きたい
- ・カヌーに乗りたい
- ・子供と一緒に参加出来るイベント

WEBサイトによる協議会からの情報発信について

2018年11月22日(木)
釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会事務局

第31回再生普及小委員会での主なご意見

■ 検討の目的・範囲について

- 全体の設計をどうするのか？誰が使うのか？を明確に。教育・普及がひとつの目的となる。(渡會委員)
- 理想ではなく、現実的・具体的な対応を考えるべきでは。(芳賀委員)
- 災害復旧等危機管理に対応できるデータが要る。(君塚委員)
- 多くの人が検索・参照するので影響があり、情報の信頼性が優先。まずはデータセンターの誤りの修正を。(照井委員)
- 若い人が見ないと言うが、WEBサイト運営の目的は何か？(百瀬委員)
- 誰のために必要なかを明確に。(佐藤委員)
- 各事務局の予算をまとめて管理できるのか？(渡會委員)
- 個別サイトの情報が多いので、入口機能が重要。(貞國委員)
- 市民にわかりやすいものを。そこから専門情報に入るとよい。(清水委員)
- 協議会ポータルから目的とするサイトに至るのが難しい。(菊地委員)
- 情報技術の専門知識のある人を入れて検討しないと失敗する。(渡會委員)
- ⇒ 現実には予算の制約があり、当面は現在のサイトを前提に整理する。(新庄委員)
- ⇒ 理想の追求はおいておく。(高橋委員長)
- ⇒ ①各サイトの重複をどう整理するか、②使ってもらうにはどうするか、③誤った情報の修正、の3つは分けて考える必要がある。(新庄委員)
- ⇒ メンテナンスの体制をセットで考える必要がある。(高橋委員長)
- ⇒ ③は可能な限り早く直すという対応になる。(環境省徳田次長)

第31回再生普及小委員会での主なご意見(つづき)

■ SNSの活用について

- 情報の存在が知られていない。若い人はWEBサイトは見ないので、SNSを活用できるとよい。(渡邊委員)
- Facebookは年齢が高い。Twitterが継続して使われている。
- ⇒ 若い人が見ないならWEB修正の目的を明確にする必要がある。(環境省徳田次長)

■ 更新体制

- 重要なのはメンテナンス。(高橋委員長)
- メンテナンスを計画的にできる体制が必要。(照井委員)
- メンテナンスは各管理者の責任で行うべき。(百瀬委員)
- ⇒ データの修正はルール・仕組みを作ればよい。(国交省釧路河川事務所渡辺所長)

■ 検討体制

- 検討体制は？(新庄委員)
- 機動性のある検討の場が要る。(高橋委員長)
- ⇒ まず担当者間で検討し、必要に応じて意見を聞きたい。(矢部自然保護官)
- ⇒ まずは、各サイトの開設者が予算を踏まえて考える必要がある。(環境省徳田次長)

■ 今回の検討事項の整理

- 課題毎の対応フローをつくっては？(芳賀委員)
- イメージが湧かないので構成図がほしい。(元岡委員)
- ⇒ 次回までに整理する。(高橋委員長)

今回の検討の目的・前提等の確認

■ 目的

- ✓ 「湿原データセンター」の情報更新にあたり、協議会の他のウェブサイトとの役割分担等を整理し、協議会からの情報発信の改善について検討する。(ウェブサイト全体の見直しをするものではない。)

■ 前提

- ✓ 協議会ポータル及び各小委員会のウェブサイトについては、運営体制及び予算の制約から当面大きな改廃は行わず、各事務局による現行予算・管理体制での継続を前提とする。(その範囲でできることを考える。)

■ 検討体制

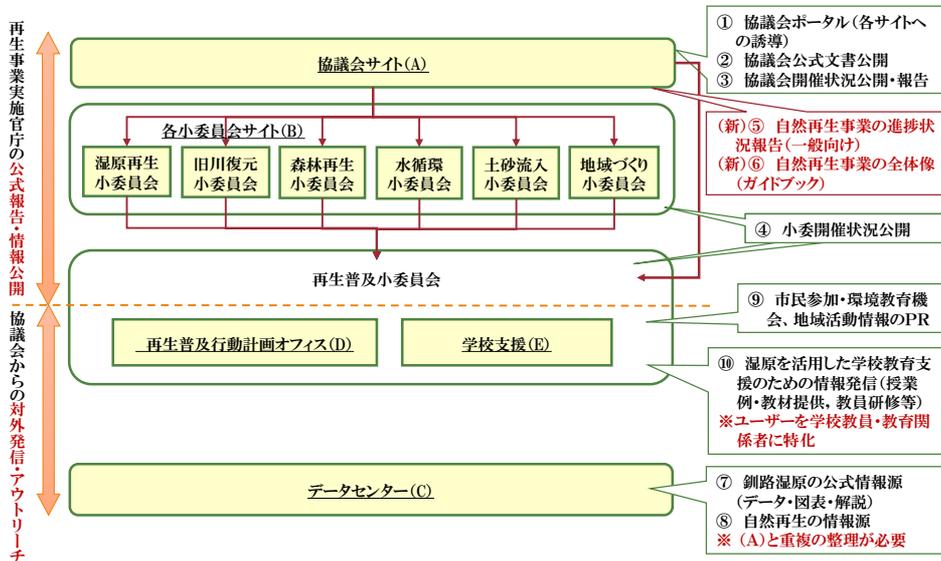
- ✓ ～9月 再生普及小委事務局と各事務局(ウェブサイト管理者)で個別に調整
- ✓ 10～11月頃 「推進連携チーム」(10～11月頃予定)で方針協議
- ✓ 11～12月頃 第32回再生普及小委員会(11～12月頃予定)で協議
- ✓ 2019年2～3月 第25回自然再生協議会で検討結果を報告

課題と対応方針(第32回普及小配布資料を改変)

課題	基本的な考え方	対応案
①情報発信が一元的でなく、情報が重複・分散している	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 複数の官庁が分担して事業を実施している以上、一元運用は現実的ではない。 ✓ 運用負担面からも、役割分担の整理は必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ p6-7のように整理
②会議資料以外はデータの更新が行われにくい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 更新を要する情報については、継続的かつ合理的な更新体制を構築する必要がある。 ✓ 各小委サイトは、小委に関する情報公開を中心とする 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ p8のように考え方(原則)を整理
③自然再生の現状等を市民目線でわかりやすく伝えるべき	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 協議会にとって、自然再生の必要性(根拠)、進捗状況、展望等をわかりやすく発信することの優先度は高い。 ✓ 各小委員会別に年度毎の進捗状況の簡略な報告と次年度以降の展望等がいずれかのサイトにあるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 各小委ごとに毎年度の進捗状況をPDFで作成し、協議会サイトで公開(p7-8参照)
④データセンターのユーザーが不明確	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 釧路湿原や自然再生事業に関心を持った人に、正確な情報を提供し、現在の動きを伝えることを目的とする。 ✓ 学校向け・一般市民向けの情報発信への期待があるが、年齢期別サイトは現実的ではなく、学校のニーズ・条件に応じた発信は学校支援WGで専門的に担っているため、ここでは指導者としての教員の利用に応える「質」をめざすこととする。 ✓ 協議会構成員・関係者のニーズは最低限満たす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 今後のデータセンターの更新作業に反映
⑤データセンターと他の情報源との機能分担	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 論文など、既存情報源がカバーする情報は扱う必要がない。 ✓ 湿原に関する公的なデータ・情報は、ここが発信源となる。 	
⑥データへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 主な図表やデータのダウンロードを可能にする。 	

各サイトの基本的な役割(案)

- ✓ この構造がわかるナビゲーションをA~Eの各サイトのトップページにおき、利用者の情報アクセスをサポートする。
- ✓ **データセンター**は更新負担を考慮して**静的・固定的情報の取蔵庫**とする。(→p8)



WEBサイト間の機能分担の整理(案)

- ✓ ⑤⑥については、小委報告同様に官公庁の情報公開の一環として位置づける。
- ✓ 再生普及行動計画オフィスサイト(下記D)の掲載情報(重複事項)の整理が必要。(別紙参照)

＜凡例＞	● : ページ作成・更新・管理 → : 該当サイトへのリンク	A 協議会 サイト	B 各小委 サイト	C データ センター	D 再生普及 行動計画	E 学校支援
基本的な役割		協議会全 体の情報 公開	実施計画 ごとの情 報公開・ 発信	釧路湿原 と自然再 生のデー タバンク	市民参加 環境教育 機会の周 知	学校での 湿原学習 支援
ウェブサイトの機能						
① 協議会ポータル(各サイトへの誘導)		●				
② 公式文書公開(設置要綱・全体構想・実施計画等)		●	←	←	←	←
③ 協議会開催状況公開・報告(資料・議事要旨)		●				
④ 小委開催状況公開・報告(資料・議事要旨) (自然再生事業の進捗状況の詳細発信)		→	●	←	←	←
⑤ 自然再生事業の進捗状況報告(一般向け)		●	←	←	←	←
⑥ 自然再生事業の全体像(ガイドブックPDF)		●	←	←	←	←
⑦ 釧路湿原の情報源(自然・社会データ・図表、解説)		→	→	●	←	←
⑧ 自然再生の情報源(背景、制度、基本的な考え方)		②で代替?		← ???		
⑨ 市民参加・環境教育機会、地域活動情報の発信		→	→	→	●	←
⑩ 湿原を活用した学校教育支援のための情報発信		→	→	→	→	●

各サイトの更新体制(案)

	設置者	更新ルール
各サイト共通事項		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会議や行事の開催案内、各種募集等は、広報開始後速やかに(1ヶ月前まで)掲載するとともに、再生普及行動計画オフィスに連絡する。(→オフィスから隔週メールニュースで発信) ✓ 会議の配付資料は1週間以内、議事要旨は(発言者確認のうえ)1ヶ月以内に各サイトに掲載する。
A 協議会サイト	国交省	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 協議会公式文書(要綱・規則、構成員、全体構想、実施計画等)の改廃の都度更新。
B 各小委サイト	各事務局	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実施計画毎に、毎年度の到達点(目標に対する進捗状況)及び次年度の見通し(事業計画案に相当するもの)、その他成果・課題・特記事項等をA4版1ページ程度のPDF(フォームは統一)にわかりやすくまとめ、図表・写真とともに公開する。(p6⑤に相当) <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">協議会サイトに一括掲載? or 小委サイトに掲載して協議会からリンク?</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">窓口を環境省担当者、管理実務者、普及オフィスの何れに置くか?</p>
C データセンター	環境省	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規項目・ページの提案は窓口を決めて随時受け付け、情報を整理のうえ協議会内に情報照会し、毎年度のメンテナンス作業の範囲内で更新する。 ✓ 数値データや図表等を含め経時変化する掲載情報は、更新予定・頻度をリスト化し、毎年度当初に前年度末時点の最新情報に差し替える。(毎年度前半の推進連携チーム会合で設置者から各事務局にリストを示し、差し替え情報の提供を依頼する。) ✓ 情報の誤りや不備の指摘を受けた場合には速やかに対応のうえ指摘者に連絡する。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">更新を、①図表や情報の年次更新、②誤情報の修正・追記、③新たな情報掲載ニーズへの対応に絞る。</p>
D 再生普及行動計画オフィス	環境省	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 活動情報、市民参加・環境教育機会については、情報入手し次第掲載するとともに、メールニュース(隔週)で発信する。パンフレット等PRツール等も更新次第掲載する。 ✓ 本サイトでは、「活動」や「機会」等の市民向け動的情報の発信を主眼とし、自然再生事業の情報や各種解説(静的情報)は各サイト+データセンターへのリンクを基本とし、軽量化していく。
E 学校支援	環境省	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ワーキンググループによる事業の進行管理に応じて随時情報を更新する。

各小委サイトの構成の統一について

- ✓ 小委サイトは、各実施官庁の公式サイトの1コンテンツとして設置運営されているため、協議会としての一体感に欠ける。
- ✓ 各サイトの構造が異なるため、統一は困難だが、見出しタイトルや掲載順等を概ね以下のように統一する。

再生普及小委員会 ……小委員会の説明

釧路湿原の自然再生について、流域内外のたくさんの人々に伝え、環境教育と市民参加を進めていくために、他の6つの小委員会と連携して活動します。釧路湿原の応援団「ワンダグリタ・プロジェクト」を運営しています。

p6の模式図(協議会・各小委の構成がわかる図)

お知らせ ……会議・行事開催案内、新着情報等

第3期再生普及行動計画 ……実施計画へのリンクを掲載

再生普及事業の実施状況 ……各実施計画ごとの進捗状況サイトにリンク

湿原学習のための学校支援ワーキンググループ ……WGが設置されている場合には当該サイトにリンク

流域の学校教員・教育行政・専門家とともに、学校教育での湿原の活用に向けて、モデル授業の企画・実施、校外学習受け入れ、教員研修講座、各種教材作成・提供等を行っています。

案1 ……新しい順に一覧形式でリストを記載し、階層は設けずに全てPDF掲載。

会議開催状況

第31回	2018年	6月21日(木)	ニュースレター No.31 PDF 3,450MB	議事次第・名簿	配付資料	議事要旨
第30回	2017年	12月15日(金)	ニュースレター No.30 PDF 4,120MB	議事次第・名簿	配付資料	議事要旨
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

案2 ……現在の国交省方式(最新の会議の情報を表示し、過去の会議は1階層下で案1のように一覧表示する。)

案3 ……階層構造は統一せず、各事項の見出しの用語のみ統一する。

<小委サイト例：A-4-3> 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

第21回(平成30年2月14日)



開催概要

「第21回旧川復元小委員会」が平成30年2月14日(水曜日)に、釧路地方合同庁舎5階共用第1会議室で開催されました。小委員会には12名(個人6名、5団体5名、関係行政機関2機関2名)が出席しました。一般の方々も傍聴されました。会議の冒頭、第20回旧川復元小委員会が出された発言概要と今後の対応方針について、事務局から説明がありました。その後、神田委員長の進行のもと、「平成29年度茅沼地区モニタリング調査結果」、「茅沼地区旧川復元事業の評価」等について、事務局からの説明とそれぞれに対する意見交換が行われました。

議事要旨

- この議事要旨のPDF (PDF:165KB)

資料

- 【資料1】第21回旧川復元小委員会_表紙、議事次第、名簿等 (PDF:230KB)
- 【資料4】第21回旧川復元小委員会資料 (PDF:9.75MB)

ニュースレター

- ニュースレターNo.21 (PDF:8.25MB)

その他の開催状況

- その他の開催状況

旧川復元小委員会 開催状況一覧

ページ目次

▼開催状況一覧

開催状況一覧

- ▶ 第1回
- ▶ 第2回
- ▶ 第3回
- ▶ 第4回
- ▶ 第5回
- ▶ 第6回
- ▶ 第7回
- ▶ 第8回
- ▶ 第9回
- ▶ 第10回
- ▶ 第11回
- ▶ 第12回
- ▶ 第13回
- ▶ 第14回
- ▶ 第15回
- ▶ 第16回
- ▶ 第17回
- ▶ 第18回
- ▶ 第19回
- ▶ 第20回
- ▶ 第21回

＜小委サイト例：D-3-2＞ 再生普及行動計画オフィス

再生普及小委員会の活動

Home > 釧路湿原の保全・再生に参加するには > 再生普及小委員会の活動

釧路湿原自然再生協議会には、6つの小委員会(右図)があります。「再生普及小委員会」は、自然再生の各実施計画を専門的に取り扱う5つの小委員会とは別に、自然再生事業全体をとおして市民参加や環境教育を進めて行く取組の立案や推進方策を協議する場として設置されています。

協議会場成員のうち希望者が参加し、事務局は環境省釧路自然環境事務所が務めています。現在、年2～3回程度、釧路市内において公開で開催されており、開催予定等は、本サイト等でもご案内いたします。

- 再生普及小委員会の現在の構成員 PDF
- 再生普及小委員会議事資料・議事要旨一覧
 - 議事資料① PDF
 - 議事要旨① PDF
 - 第1回 議事資料② PDF 議事要旨 PDF
 - 議事資料③ PDF
 - 議事資料④ PDF
 - 第2回 議事資料① PDF 議事要旨 PDF
 - 議事資料② PDF
 - 第3回 議事資料 PDF 議事要旨 PDF
 - 第4回 議事資料 PDF 議事要旨 PDF
 - 第5回 議事資料 PDF 議事要旨 PDF

協議会構成図

第24回 議事資料 PDF 議事要旨 PDF

第25回 議事資料 PDF 議事要旨 PDF

第26回 議事資料 PDF 議事要旨 PDF

第27回 議事資料 PDF 議事要旨

第28回 議事資料 PDF 議事要旨

議事資料① PDF

議事資料② PDF

第29回 議事資料③ PDF 議事要旨

議事資料④ PDF

第30回 議事資料 議事要旨

再生普及小委員会ニュースレター

- Vol.1 PDF
- Vol.2 PDF
- Vol.3 PDF
- Vol.4 PDF
- Vol.5 PDF
- Vol.6 PDF
- Vol.7 PDF
- Vol.8 PDF
- Vol.9 PDF
- Vol.10 PDF
- Vol.11 PDF
- Vol.12 PDF
- Vol.13 PDF
- Vol.14 PDF
- Vol.15 PDF

}}}

自然再生事業の進捗状況報告(一般向け)記載事項(案)

- ✓ 「釧路湿原自然再生ガイドブック」(2017年12月)のp8～19を各実施計画毎の記載のベースとする。(視察対応や現地見学会等でそのまま配布できるとよい。)
- ✓ 「どこで」「何のために」「何を」やっていて、「どこまでできているのか」、「何がわかったのか」を地図、写真、図表等を用いて極力わかりやすく記述する。特に、事業実施前・後の変化を具体的に記述する。
- ✓ 学習計画を立てるために調べている小中学校の教員が理解できるレベルの用語使用・記述を意識する。

記載事項	考え方
目的	施策毎の目的をわかりやすく記載する
事業内容	実施する事業を地名等を含めて具体的に列挙する
期待する効果	図表等を用いて具体的にイメージできるよう説明する
これまでの進捗状況、成果・課題	実績や調査結果を具体的な数値、図表、地図、写真等を用いて平易に解説する
2018年度の実施状況と成果・課題	
今後の展望	予算や意思決定を経た確定事項の公開のみではあまり欠けないので、その時点での方針・方向性として書けるレベルでできるだけ具体的に書く。

再生普及行動計画オフィスサイトについて(案)

- ※ 改善には予算・人手(作業時間)を要するため、現時点では方針のみ検討し、実施可能となった段階で着手する。
- ✓ 現在のサイトは構成が複雑すぎるため、階層を浅くし、簡略化していく。
- ✓ 地域の活動やオフィスの事業を軸とする動的情報の発信を中心とする。(知見のストックはデータセンターで行う)
- ✓ 自然再生事業や協議会とのインターフェース機能については、本来は協議会ポータルサイトに持たせられるとよいが、管理体制等の与件から、次善の策としてp6~7のように役割分担する。
- ✓ 行動計画は現在は現地見学会や学校教育支援等にシフトしており、航空写真等のイベント出展については費用対効果の考慮を要し、WEB上での扱いについても要検討。
- ✓ 事例取材・紹介等は負担が大きく、現状では継続的な実施は困難であり、こうした「動かない」ページは閉じていく。(ブログやSNSで自然再生事業そのものをきめ細かく伝えていくことも体制的に課題がある。)

<別紙> 現行WEBサイトのコンテンツ一覧

[赤字:要対応、紫字:更改時対応、緑字:7/25追記、水色:8/21追記]

A 協議会ポータル 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部		
A-1	新着情報	
A-2	更新情報	※各小委の開催情報をリンクにより掲載
A-3	協議会について	
A-3-1	設立趣旨	
A-3-2	設置要綱・運営規則等	
A-3-3	設立までの経緯	「これまでの経緯」への変更が妥当か?
A-3-4	構成員名簿	
A-3-5	釧路湿原の現状と課題	A-3-3に併合?
A-3-6	釧路湿原の河川環境保全に関する提言	A-3-3に併合?
A-4	開催概要	
A-4-1	協議会	
A-4-1-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-1-2	議事要旨	
A-4-1-3	配付資料	
A-4-1-4	ニュースレター	
A-4-2	湿原再生小委	
A-4-2-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-2-2	議事要旨	
A-4-2-3	配付資料	
A-4-2-4	ニュースレター	
A-4-3	旧川復元小委	
A-4-3-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-3-2	議事要旨	
A-4-3-3	配付資料	
A-4-3-4	ニュースレター	
A-4-4	土砂流入小委 (→B-4)	
A-4-5	森林再生小委 (→B-5)	
A-4-6	水循環小委	
A-4-6-1	(直近の小委の)開催概要	
A-4-6-2	議事要旨	
A-4-6-3	配付資料	
A-4-6-4	ニュースレター	
A-4-7	再生普及小委 (→D)	
A-4-8	行動計画WG (→D-3-3)	※終了につき、見出し不要
A-4-9	地域づくり小委 (→B-9)	
A-4-10	自然再生シンポジウム	A-3-3に併合?
A-4-11	学校支援WG	※要見出し・リンク新設
A-5	協議会策定資料	※パンフ要掲載
A-5-1	全体構想	
A-5-2	再生普及行動計画	
A-5-3	カヌーガイドライン	
A-5-4	釧路湿原自然再生ニュース	掲載場所要検討
A-6	実施計画	PDFリンクの目次の方がいいのでは?
A-6-1	ヌマオロ	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-2	茅沼	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-3	土砂流入	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-4	幌呂	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-5	達古武	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-6	達古武湖	PDF直リンクの方がいいのでは?
A-6-7	雷別 (→サイト紹介ページ)	※実施計画にリンクしていない
A-7	関連機関(リンク集)	
A-8	サイトマップ	
B-4 土砂流入小委 (北海道釧路総合振興局釧路建設管理部)		
全回の議事要旨+ニュースレター+配付資料		
B-5 森林再生小委 (林野庁北海道森林管理局)		
全回の議事要旨+ニュースレター+配付資料 NLリンクがサイト内で重複		
B-9 地域づくり小委 (北海道釧路総合振興局商工労働観光課)		
全回の議事要旨+ニュースレター+配付資料		
D みんなで進める釧路湿原の自然再生 (環境省釧路自然環境事務所)		
D-1	釧路湿原の基礎知識と訪問ガイド	基本的に各サイトへのリンクで構成する
D-1-1	釧路湿原の基礎知識 (→データセンター)	
D-1-2	釧路湿原国立公園 (→環境省+NP連絡協議会)	
D-1-3	釧路湿原地域の観光 (→各観光協会)	道振興局or観光連盟サイトにリンク?
D-2	自然再生を進める仕組みと具体的な計画	基本的に各サイトへのリンクで構成する
D-2-1	再生を進める仕組み (→A-1+解説)	
D-2-2	自然再生の全体像 (→A5-1)	※協議会サイトにパンフ掲載し、要リンク
D-2-3	自然再生の特徴 (→A5-1抜粋)	
D-2-4	具体的な計画 (→A6各計画)	
D-3	釧路湿原の保全・再生に参加するには	
D-3-1	普及行動計画 (解説+計画PDF)	※現行計画表紙写真掲載(容量制限超過?)
D-3-2	普及小委の活動(全回の議事要旨+資料+N)	A-4.Bと横並び(役所の情報公開)で位置づけ
D-3-3	行動計画WGの活動(全回の議事要旨+資料)	
D-4	市民参加のワンダグリンドプロジェクト	
D-4-1	取組み一覧(直近年度)	改修時にD-4-5と統合
D-4-2	参加者募集中(チラシPDF)	
D-4-3	参加者向け特典	
D-4-4	メールニュース案内	トップページにあるので削除可
D-4-5	過去のワンダグリンドプロジェクト(PDFリスト)	D-4-1に統合
D-5	釧路湿原と学校での環境教育	
D-5-1	実践事例 (→E-6)	
D-5-2	教員研修講座 (→E-2)	
D-5-3	湿原学習をお手伝いします	
D-6	湿原のワズユースに向けて	
D-6-1	鶴居ガイドマップ	※改訂版案内(要入手)+鶴居協リンク
D-6-2	釧路川カヌー利用ガイドライン (→A-5-3)	
D-6-3	保全と利用総合ガイドマップ(旧マップ)	削除可?(在庫等不明)
D-7	地域で取り組む自然再生	FBやブログ化しないと情報更新困難
D-7-1	標茶高校	
D-7-2	標茶西地区農地・水保全隊	
D-7-3	鶴居村森林組合	
D-8	オフィス業務のご案内	
D-8-1	パネル貸出	パネルを作成のうえ更新する必要あり
D-8-2	航空写真貸出	貸出事態の継続可否を要検討
D-8-3	講演・出前授業・講師派遣	
D-8-4	オフィスボランティアの募集	非現実的?(マネジメント困難)
D-9	釧路湿原自然再生協議会	
D-10	自然再生ブログ	要廃止(機能したためがない)
D-11	自然再生実施計画概要資料	各小委毎の年次報告サイトに切り替え
D-12	環境教育WG	バナー(名称)修正

E ぎづく わかる まもる 釧路湿原 (環境省釧路自然環境事務所)		
E-1	釧路湿原を題材とした学習資料	
E-1-1	フィールド情報マップ	
E-1-2	学習資料の活用例	
E-1-3	釧路湿原の生きもの写真資料館	
E-1-4	釧路湿原の生きものの食物連鎖	
E-1-5	大地のつくりと変化(モデル授業)	
E-2	教員研修講座(過去の実施内容公開)	
E-3	協力団体・受入機関の情報	
E-4	受け入れ施設の情報	
E-5	小中高校における実践事例	
E-6	資料DL(2007調査報告、環境教育ガイドブック)	
E-7	学校支援WG(開催実績、資料、議事要旨)	
E-8	WGの取組み(事業実績報告)	
E-9	環境教育WG(開催実績、資料、議事要旨)	

C 釧路湿原自然再生プロジェクト湿原データセンター ※現在公開版 (環境省釧路自然環境事務所)		
C-1	湿原を知る	
C-1-1	湿原の基礎	?
C-1-1-1	釧路湿原の形成	?
C-1-1-2	湿原とは、湿原の種類	?
C-1-1-3	湿原のでき方	?
C-1-1-4	湿原の広さ	?
C-1-1-5	湿原を見る	?
C-1-2	自然環境	?
C-1-2-1	ある湧水地点の様子	?
C-1-2-2	ハンノキ林の拡大	?
C-1-2-3	栄養塩とはなんだろう?	?
C-1-2-4	釧路湿原情報地図	?
C-1-2-5	釧路湿原流域の地勢	?
C-1-2-6	釧路地方の気象条件	?
C-1-2-7	釧路地方の霧発生仕組み	?
C-1-2-8	湿原とその周辺域の水利用	?
C-1-2-9	湿原と植生概要	?
C-1-2-10	湿原に生息する植物:ハンノキ	?
C-1-2-11	湿原に生息する動物:タンチョウ	?
C-1-2-12	湿原に生息する動物概要	?
C-1-2-13	湿原の水環境	?
C-1-2-14	湿原域の形状と周囲の地形(流域図)	?
C-1-2-15	植生群落源	?
C-1-2-16	有機汚染量を示す指標	?
C-1-2-17	湧水地:釧路湿原を涵養する水源	?
C-1-2-18	様々な湿原の植物	?
C-1-2-19	冷涼な夏に守られてきた湿原	?
C-1-3	湿原と人	?
C-1-3-1	[湿原と産業 観光] 湿原が観光地として注	?
C-1-3-2	[湿原と産業 漁業] 釧路地方は北洋漁業の	?
C-1-3-3	[湿原と産業 工業] 鉱工業は豊富な資源と	?
C-1-3-4	[湿原と産業 農業] 湿原域の農業	?
C-1-3-5	[湿原と産業 農業] 大規模化しつつきてき	?
C-1-3-6	[湿原と産業 農業] 酪農による環境負荷の	?
C-1-3-7	[湿原と産業 林業] 木材生産重視の林業が	?
C-1-3-8	[湿原と産業]	?
C-1-3-9	エコツアー・環境教育	?
C-1-3-10	規制区域:湿原環境保全に関連する法的な	?
C-1-3-11	規制区域2:湿原環境保全に関連する法的	?
C-1-3-12	細岡展望台から見る湿原と夕日	?
C-1-3-13	資源としての湿原	?
C-1-3-14	湿原の周囲環境	?
C-1-3-15	湿原の周辺市町村	?
C-1-3-16	湿原面積の減少	?
C-1-3-17	湿原面積の減少2	?
C-1-3-18	地域住民へのアンケート(湿原に関する意	?
C-1-3-19	鳥獣保護区:湿原環境保全に関連する法的	?
C-1-3-20	展望台から「感じる」釧路湿原	?
C-1-3-21	都市計画:土地利用に関連する法的な地域	?
C-1-3-22	土地利用の変化1976年~1997年	?
C-1-3-23	土地利用の変化(農地面積)	?
C-1-3-24	農業地域:土地利用に関連する法的な地域	?
C-1-3-25	変化してきた湿原への接し方	?
C-2	自然再生を知る	現時点ではコーナーごと不要ではないか?
C-2-1	自然再生事業について	
C-2-1-1	我が国の自然再生	?
C-2-1-2	再生事業とは	?
C-2-1-3	世界の自然再生	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-4	世界の自然再生[アメリカ]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-5	世界の自然再生[イタリア]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-6	世界の自然再生[オーストラリア]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-7	世界の自然再生[デンマーク]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-8	世界の自然再生[ドイツ 1]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-1-9	世界の自然再生[ドイツ 2]	海外事例の蓄積や更新は非現実的と思われる
C-2-2	自然再生釧路方式	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-1	パイロット事業地 広里地域	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-2	パイロット事業地 広里地域 事業内容	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-3	パイロット事業地 達古武地域 事業内容	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-4	パイロット事業地 塘路・茅沼地域 事業内	A-4.A-6へのリンクでよい
C-2-2-5	再生の目標	A-5へのリンクでよい
C-2-2-6	再生事業の考え方	A-5へのリンクでよい
C-2-2-7	再生事業の全体像	A-5へのリンクでよい
C-2-2-8	再生事業の範囲とパイロット事業地	A-5へのリンクでよい
C-2-2-9	自然再生釧路方式	A-5へのリンクでよい
C-2-2-10	自然再生事業の長期目標	A-5へのリンクでよい
C-3	全体構想を知る	A-5へのリンクでよい
C-4	3Dコンテンツ	?
C-5	データ検索	?
C-6	資料室	?
C-7	GISコンテンツ	?
C-8	ENGLISH	?
C-9	リンク	?
C-10	ダウンロードサービス	?

「釧路湿原自然再生パネル」の作成について

目的

釧路湿原自然再生協議会では、設立当初から多くの人々の理解や参加を広げていくことを重視し、自然再生を地域・市民の理解、支持、協力のもとに進めていくため情報発信に努めている。

この一環で釧路湿原自然再生事業パネルを作成したものの、活動内容の変化やさらなる情報発信を目的に、当該パネルの更新を行うものとする。

内容

- ・釧路湿原自然再生事業のパネルについて、更新を予定
- ・情報のベースとしては釧路湿原自然再生ガイドブックを活用し、より分かりやすい内容を目指す

構成案

1セット 14枚 A0版もしくはA1版

- 1.釧路湿原とは（地図）
- 2.釧路湿原の恵み（生態系サービス）
- 3.釧路湿原の今（課題）
- 4.今、行われている事業一覧
- 5 釧路湿原自然再生協議会の構成
- 6.湿原再生（幌呂地区）
- 7.湿原再生（達古武湖）
- 8.旧川復元（茅沼地区）
- 9.森林再生（雷別地区）
- 10.森林再生（達古武地区）
- 11.水循環
- 12.土砂流入対策（久著呂川）
- 13.市民が参加する自然再生の取組
- 14.学校で学ぶ釧路湿原

「釧路湿原自然再生ガイドブック」の英語版作成について

目的

釧路湿原自然再生協議会では、設立当初から多くの人々の理解や参加を広げていくことを重視し、自然再生を地域・市民の理解、支持、協力のもとに進めていくため情報発信に努めている。

この一環で平成 29 年度に「湿原とともに暮らす未来の子どもたちのために 釧路湿原自然再生事業ガイドブック」を作成した。釧路湿原の自然再生事業については、外国からの視察等も多く訪れる先進的な自然再生事業地であることから、当該ガイドブックを英訳化し、より多様な方への情報発信に努める。

内容

釧路湿原自然再生事業ガイドブックの英訳化

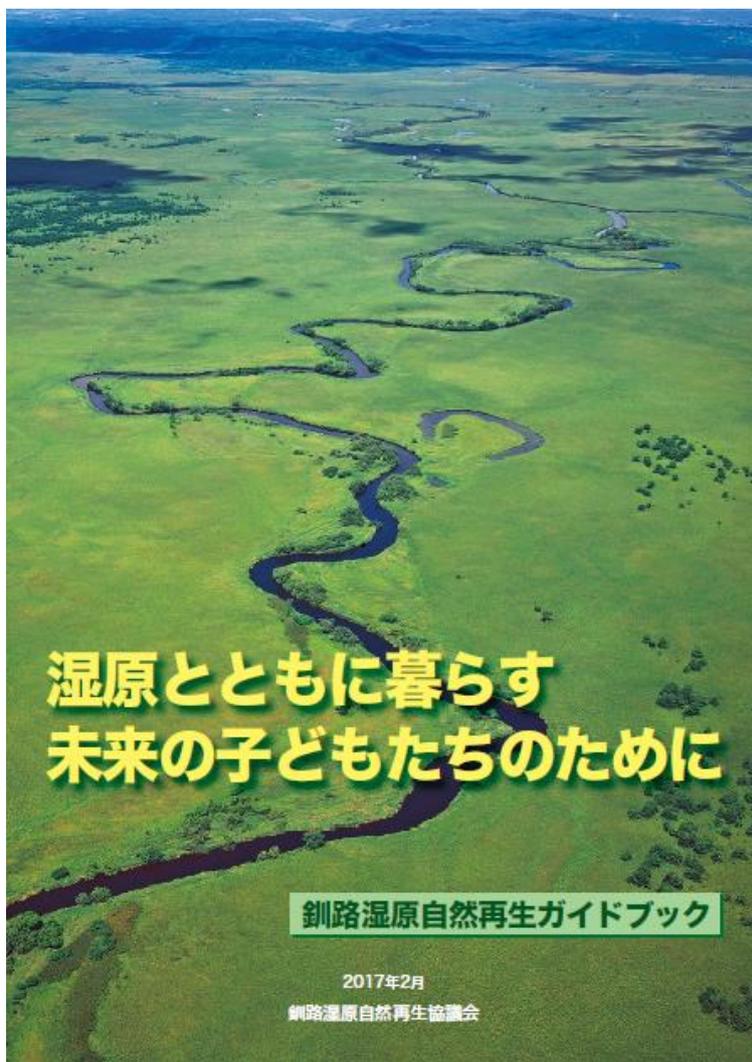


図 釧路湿原自然再生ガイドブック